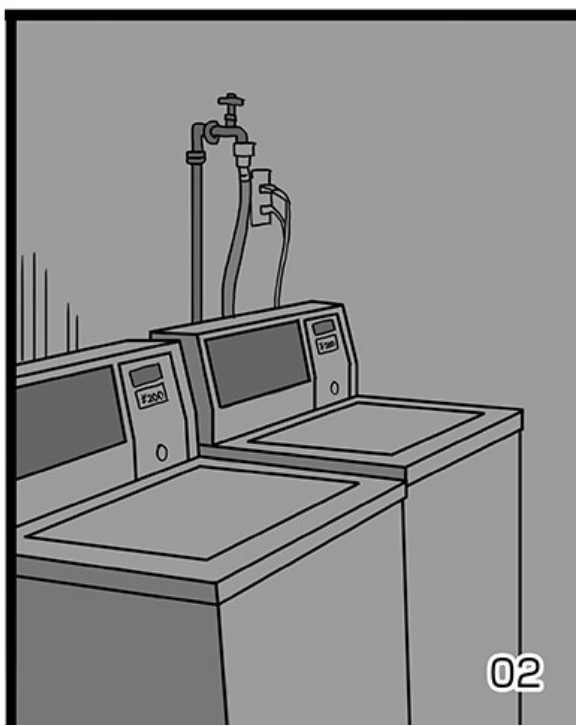
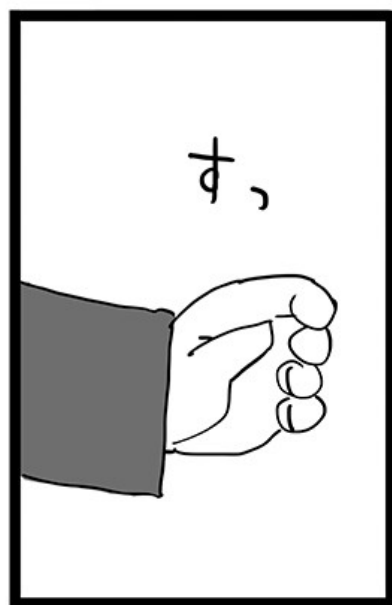


速 示 直 裸

〈トウキョウマツパ〉







駅前に二十四時間営業の
コインランドリーが
できてから、
ここにはほとんど
人の出入りがないのは
確認済み・・・

ピシッ

そとは閑静な
住宅街だから
この時間めったに人が
通らないし、
仮に通ったとしても
音でわかるはず

ぬぎゅ

とき

見つかるわけない
・・・よね

だ、
大丈夫・・・

どき

がちゃー がちゃ

やば・・・
もうこんな
濡れちゃってる

ぐき

ぐき...

しわな

どうしよう
今誰かが
入ってきたら
もう言い訳
できないぞ

洗濯物

悩んでも
しょうがない
もう全部
脱いじゃえっ

早く済ませて
帰らなきゃ

ぶるん



今僕は、家やお風呂以外の
ところで裸になってるんだ



うわあ
やってもうた



はやく・・・
はやくしないと

僕がこんなことを
しているのには
理由がある。



緊張で
心臓が
バクバクして
体も熱い・・・

どうしよう
足が震えて
立てないよ

数日前

うわーっ
すげーよタクミ!

ほ、ほ、ほんとに
「音速ラビット」の
記念硬貨だ!
限定100個しか
作られてない
はずなのに
なんで持ってるの

親戚が
抽選に
あたった
らしくてさ
譲って
くれたんだ

これ、ぼくも
応募したのに
あたらなかったんだよ

いいな~~~~~
すごいな~~~~~
欲しいな~~~~~

またろーに
あげるよ

ええっ!
まじで?
こんなに
貴重なものを

お前が欲しが
るだろうと
思って
持ってきたんだよ

じゃ、じゃあ
遠慮なく
いただくね

やつぱり
持つべきものは
友達だよ
えへへ

おれ、こういうの集める
趣味ないからさー
価値のわかるやつが
持ってたほうがいいと思って

あー
やつぱ
やめた

!?

そこまで喜ばれると
逆に手放すのが
もったいなく
なってきたな

考えてみりや
そんなにレアなら
ヤ○オクにでも
出品したほうが
金になるかもしれないし

はああああー？
なんだよそれ
ひどいよ！

くれるって
言ったやん
いじわる！

そうは
言っても
ただで
あげるのは
勿体無いなあ

う・・・
今お金は
そんなに
ないけど

頼むよー
僕ができる
ことなら

なんでも
するから！

ふうん

今、
なんでもって
言ったよね

う・・・
うん、
でも

危ないことは
だめだよ
盗みとか

ばかだなー
親友のお前に
そんなこと
させるわけ
ないだろ

こういうのはどうかな？
町の郊外に寂れた
コインランドリー
あっただろ
そこでさあ・・・

うん

？

何で

そんなこと
しなきゃ
いけないんだよ

誰が得すんの
それ

お前の
勇気を試すんだよ
ほんとにこの
硬貨がほしいなら
余裕だろ

!?

こにょこにょ・・・

まあやるかどうかはお前に任せるよ
無理強いはしない

ただどうしても
できないっていうなら
この硬貨は
売り払っちゃう
からそのつもりで

・・・
なに考えてんの
あいっ

全裸になって
証拠に写真とってこい
なんて・・・

絶対面白がってるよ
タクミのやつ・・・
ときどき悪ノリ
すんだよな

証拠写真って
どう撮ればいいんだろ
ちんちんまで
写さなくていいよね

うう・・・
勃起しちゃって
片手じゃ隠し
きれいな

だーがー

ほ

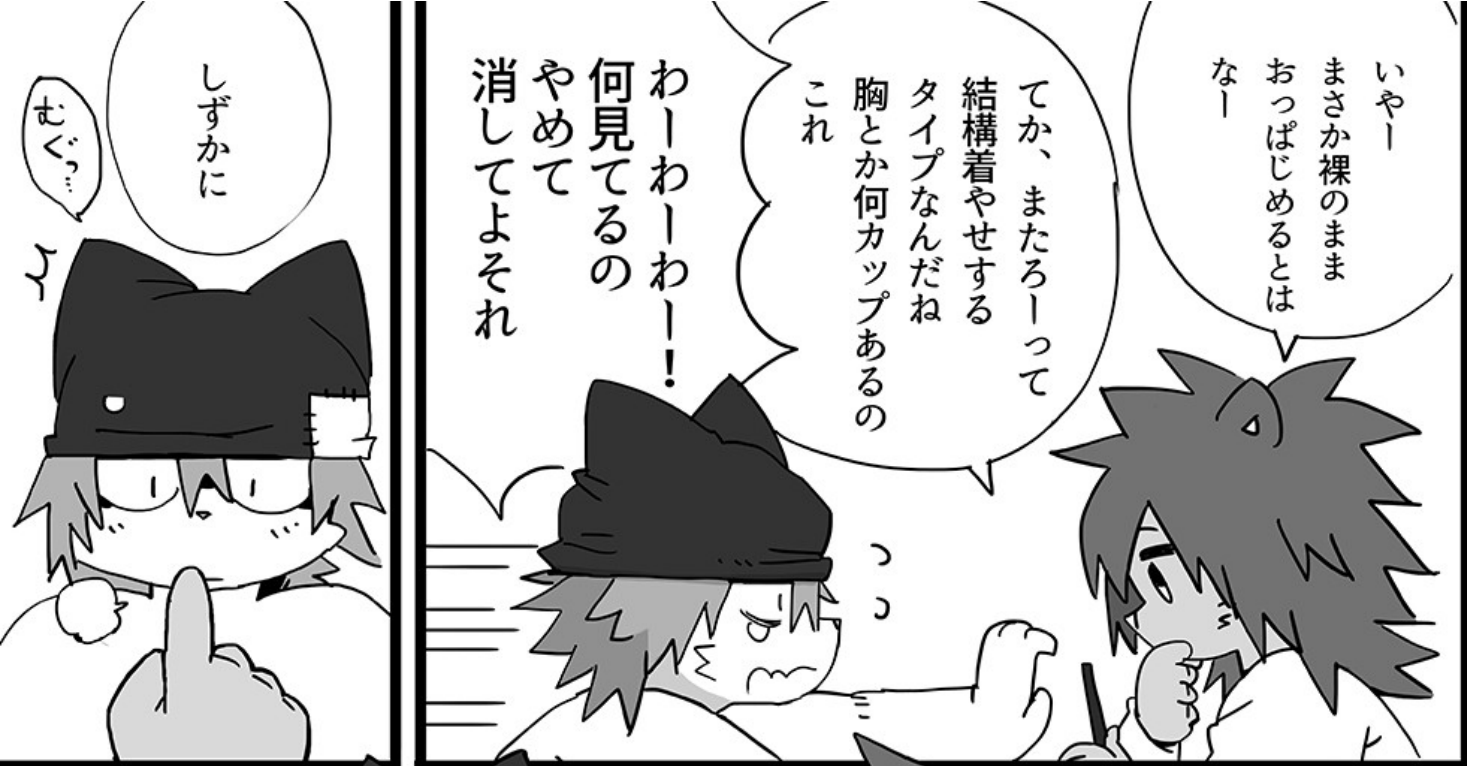
こんな
感じかなあ

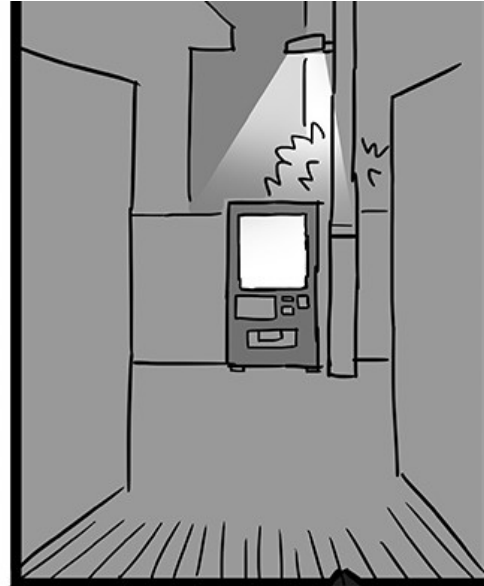
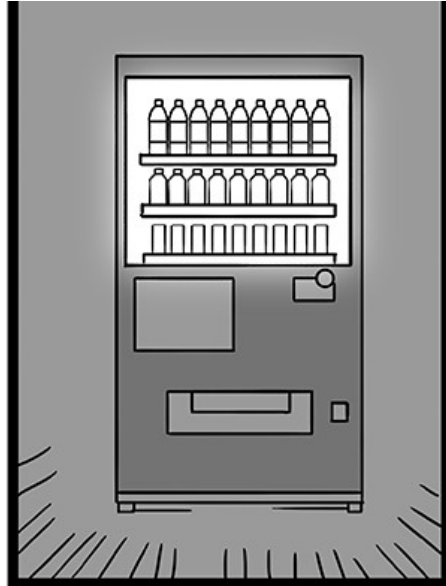
うっわ

このアングルで
見たら
腹めっちゃ
出てんな僕

これ、
キリコに
見せたら
ネタにされそう









唐突なおまけページ!

なんで
帽子は取らないの?

は・・・
恥ずかしいから・・・



あつだめっ

ポロ

うはっ
こっちはもう
やる気満々
みたいだよ

いっかあ...

てかさ、またらーって
デカチンだね
俺より
背ちっちゃいくせに
こんな立派なもの
持ってたんだ

ええっ

そ、そう？
でかいんかな
これ...
人のと比べたこと
ないから

うん
こんなに
おっきい人
なかなか
いない
んじゃない？
皮はかぶってる
けど

じゃなくてツ！
こ、これは緊張して
勃っちゃった
だけだからっ

ぼく
そんな
露出狂
みたいな
こと
しないからね

それじゃあ
しょうがないなあ
さつきとった画像
トゥイッターに
アップ
しちやおうかな

!?

それだけは
かんべん
...

それに
忘れてない？
俺の言うこと
聞くかわりに
記念硬貨をあげるって
条件だったよね？

うっ

大丈夫！
走っていけば一瞬だから！
ほら勇気を出して

わあっ
押さないで

ぐる

いって
みよーっ

おわっ

どん

もう
転んだら
どうするつもりだよ
今、僕裸なん・・・

だか・・・
ら・・・

あ・・・

ヒュハ

ハハハ

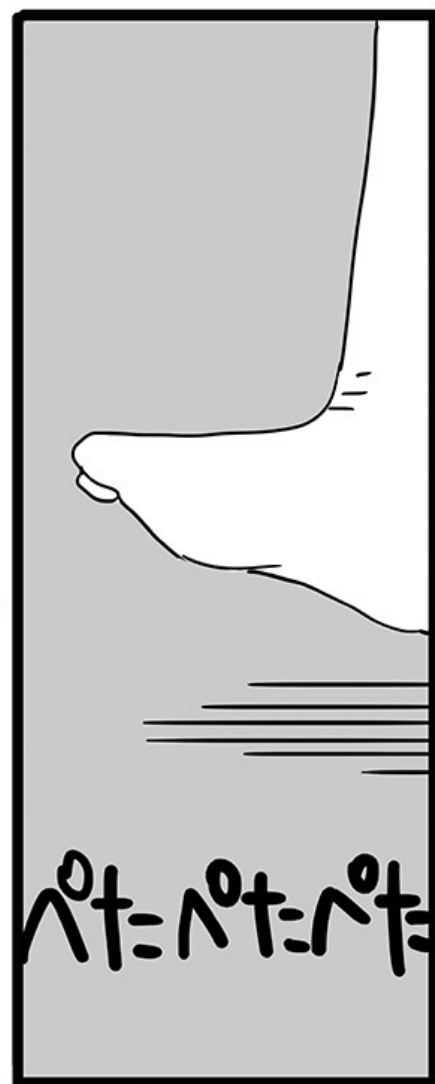
早く行かないと、
寒さでお腹
壊しちゃうよ！

ドクダ

ちよっ！
大声出さないでよ
誰かに聞かれたら
どうすんの（小声）

大丈夫だって
僕がここで見張ってて
あげるから！
あ、手で股間隠しちゃ
だめだよー

うう、
しゃーない・・・
これで
タクミが満足するなら
さっさと終わらせ
ちゃおう



恥ずかしすぎて
体が熱くて、
寒さなんて
感じないや

頭もぼーっと
してきて
なんだか
気持ち良いな
・・・
なんつって

あの家、
まだ灯りが
ついてる・・・
もし今窓を
開けたら、
僕の裸が
見られちゃうな

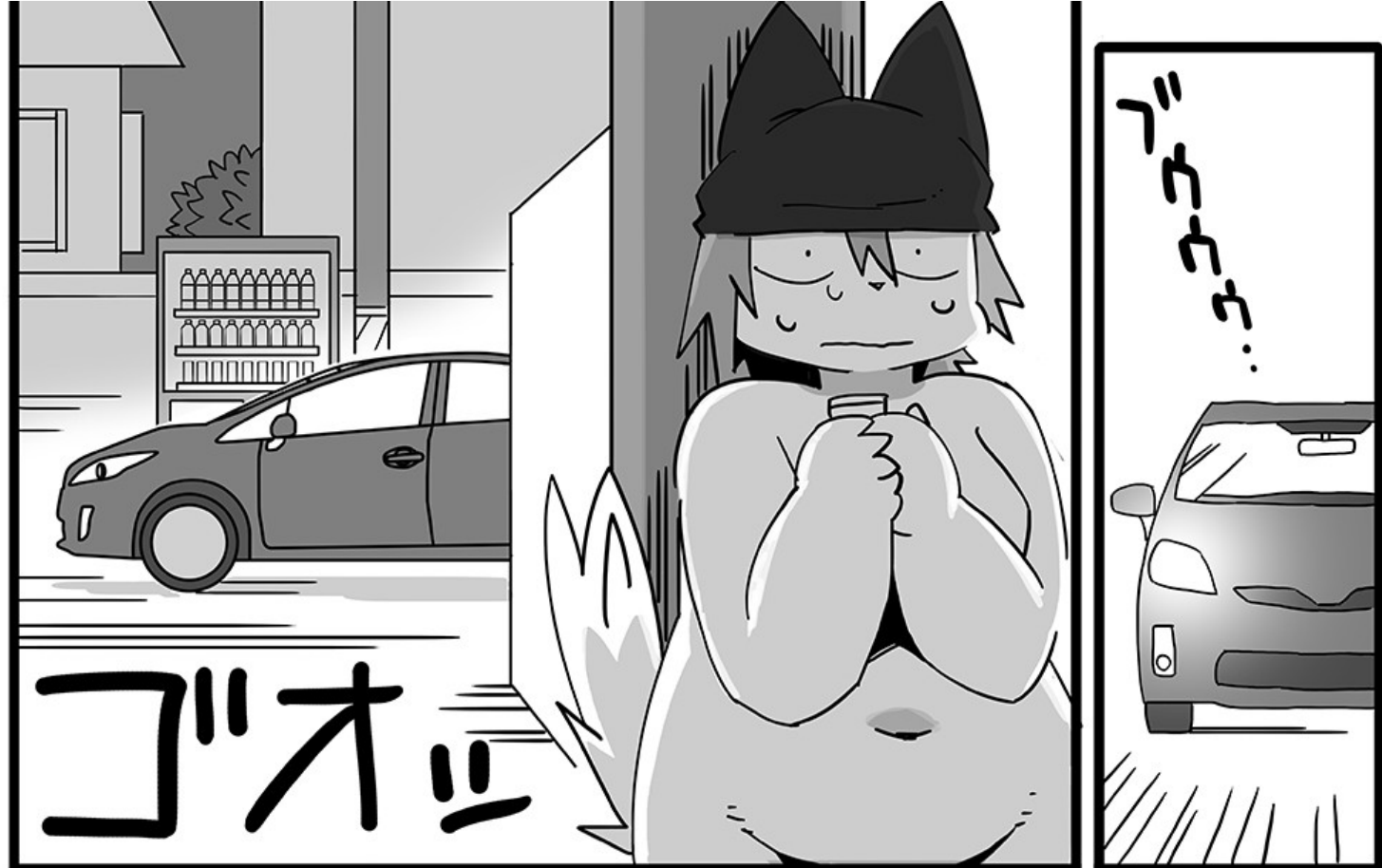
もう少し
・・・
もう少しだ
・・・

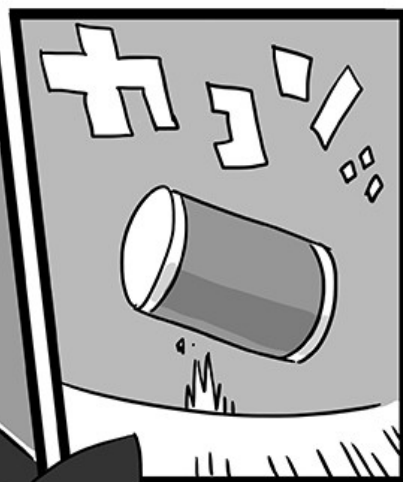


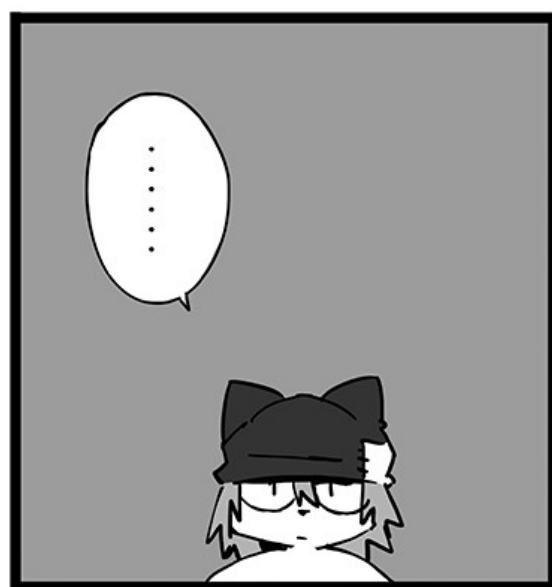
うう
自販機の照明で
周りから丸見えだよ
・・・
早くしなきゃ

よし、
誰もいない









数日後

ガブリブリ

やあ、
そろそろ来ると
思ってたよ

ちゃんと僕が
言ったとおりに
してきた？

うん

タクミに
言われたとおり

家からずっと、
下には何も着てないよ
・・・

今日は

何を
するの？

奥付け

発行日:

2015年 12月 31 初版

発行:

ラビット空間

発行者:

しらたま

メールアドレス:

rabbit_zone@live.jp

ウェブサイト:

<http://www.pixiv.net/member.php?id=86368>

印刷所:

しまや出版さま

18歳未満の閲覧は禁止です。無断転載・二次販売は許可しません。